▼前田典彦企画創造課長
　道の駅本体は大豊町所有の建物で、国土交通省が整備するのはトイレ、東屋、駐車場である。

▼下村賢彦町長
　委託料50万円は道の駅観光センターの基本計画の策定委託料であり、町は国土交通省とのコンセプト調整のため基本計画を策定する。
～～～～～～～～～～～～

▼佐藤徳治議員
　県一消防（高知県消防広域化）について、須崎市が離脱を表明するなどの状況であるが、実務者協議会での現状説明を求める。

▼下村賢彦町長
　県内15消防本部を県一つに統合するため、各議会に同じ条件で提案するための実施計画案を採決する予定だったが、その場で須崎市長から離脱表明があった。
　採決について協議した結果、採決をしないことが多数決で決まり、採決は中止された。

▼佐藤徳治議員
　本町議会へは消防広域化の情報がなく、我々議員が議論を深められない状況である。
　県との進行具合を、逐一機会があれば本議会にも知らせるよう町長に願う。

▼下村賢彦町長
　最終的な実務者協議会の決定事項は、議会に説明するつもりだった。
　これまでワーキング部会や専門部会について、総務課長等から議会に3回程度説明している。実務者協議会で最終的な案に絞る予定だったが、採決が流れ、その後は県から回答がなく、現時点では未定。
　今後とも、首長レベルの決定事項だけでなく、ワーキング部会等の事務レベルの情報も含めて説明していく。
　嶺北広域消防本部、高知県全体、大豊町の消防力が維持されることが重要で、消防事務は市町村の責任事務。現場の消防力が縮小されないなら県一消防について前向きに議論していく考えだ。
～～～～～～～～～～～～

▼小川智也議員
　水害ハザードマップ委託料は、いつ頃完成し、どのようなものができるのか。

▼平石稔総務課長
　当初予算で水害ハザードマップを計上しており、今回はウェブ上で公開できるよう追加予算を計上し、年度内に完成予定である。ウェブ上で誰でも閲覧可能で、県の防災マップのように、地図上で避難所などを確認できるものを作成する。

▼小川智也議員
　災害時には水の問題が生じる。全国では防災用の井戸を整備する自治体もあるが、本町ではどう考えているのか。

▼下村賢彦町長
　これまで井戸水の活用について検討したことはない。本町では谷川の水を滅菌処理して水道水として利用している。水道が引けない地域には給水施設の整備補助等で対応している。現時点では井戸水は検討していない。
～～～～～～～～～～～～

▼佐藤徳治議員
　大田口医院の高橋医師が地域医療への貢献で表彰されたと聞いたが、行政報告もなく、町長・教育長はどう考えているのか。
　高橋医師は大豊学園の学校医、町の医療にも貢献しており、町や教育委員会から何らかの祝意を示す考えはないのか。

▼下村賢彦町長
　担当から表彰を受けたとの報告は受けているが、詳細は把握していない。高橋医師は学校医だけでなく産業医など、町の医療に幅広く貢献している。今回の表彰も長年の貢献が評価されたものと考えている。
　詳細を調査し、町として祝意を示すことや、町民に知らせることを検討する。
～～～～～～～～～～～～

▼上池如夫議員
　現時点で町長に詳細が入ってないことは理解をした。地域医療等への長年の貢献に対する表彰なので、今後は速やかに確認し適切な対応を願う。

※高橋雄彦医師　表彰
　令和8年8月2日に高知市で開催された第42回高知県学校医歯薬保健研究大会において、多年にわたり学校医として児童・生徒の健康状態の把握に努め、学校生活における健康管理と安全についての指導助言を行うなど、保健管理並びに保健教育の充実と向上に尽力された功績により、高知県医師会からの推薦により、同大会長名で表彰されました。誠におめでとうございます。
　高橋医師には学校医だけでなく保育所の嘱託医、役場の産業医、また無医地区診療をはじめ地域医療の確保に対しましても多大なご支援ご協力をいただいております。
※町長から閉会日に、高橋医師への表彰内容及び感謝の意が述べられました。

令和7年度各種会計決算認定

（認定・全員）

令和7年度の一般会計、特別会計歳入歳出決算書、簡易水道事業会計決算書、付属書類等及び基金の運用状況を示す書類等が、法令に準拠して処理されているか、予算執行が適正であるかどうかについて、関係諸帳簿等の照合を行うとともに、必要に応じて関係職員の説明を求める方法により審査した結果、概ね正確で適正に処理されているものと認めた。
　一部で財務規則の理解不足や人事異動による出納整理期間中の伝票処理（歳入・歳出）システム入力のミスなどがあった。
　また書類の整理等が不備なものもあり、事務事業や予算執行については、根拠法令等理解することにより正確な処理を求める。



委員会の動き

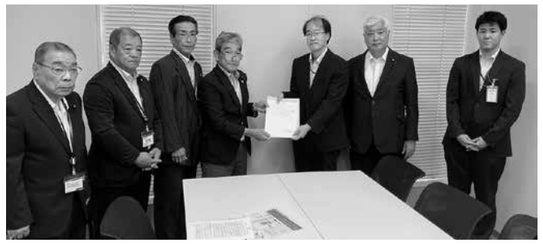
総務産業建設常任委員長　上池　如夫

●調査日時
令和8年7月22日（水）午後3時～午後5時～23日（木）午前11時～正午

●調査場所
議員会館（環境省及び経済産業省）、林野庁

●調査事件
経済産業省等との意見交換及び情報収集について

●調査結果
6月議会で採択した（仮称）嶺北香美ウィンドファーム事業に関する陳情書を町議会意見書として経済産業省及び環境省へ提出と同時に意見交換を開催した。
　また、国有林野事業について、林野庁での情報収集及び意見交換を開催した。
　7月22日に経済産業大臣・環境大臣宛てに藤丸議長より意見書を提出した。経済産業省からは、大臣官房産業保安・安全グループ電力安全課長ほか担当者2人、環境省からは、大臣官房環境影響評価課審査室長ほか担当者1人と県選出国会議員が同席し、意見交換を行った。
　会では、環境保全重視を堅持され、地域住民の合意なしに事業が進められることがないよう強く求め、また再生可能エネルギーについての今後の見通しなどについても話し合った。
　7月23日には、林野庁にて長崎屋林野部長）との情報交換会を行い、環境保全重視での国有林の役割として、水源かん養保安林等が飲料水や土砂災害等へ与える影響などについてご教示いただいた。
　本町の山林についての現状として、林業施策や就労などを説明し、また森林環境譲与税についての使途や内容を伝え調査を終了した。



意見書提出環境省



意見交換及び情報収集

編集後記

　朝晩の冷え込みが厳しくなり、本町にも本格的な秋の訪れを感じる頃となりました。今号は、町政に対する一般質問や、前年度の決算認定など、町の未来に関わる重要な審議が行われた９月定例会の模様をまとめています。議会の動きをより身近に感じていただけるよう、丁寧な誌面づくりに努めました。ご一読いただければ幸いです。
　これから冬に向かいますので、皆様どうぞお体に気をつけてお過ごしください。

広報編集特別委員会　副委員長
美濃　明男

ご意見やご感想は
大豊町議会事務局　TEL：72-0450（ピカラ）72-0850